

3 年ぶり開催！小学生向け「防災キャンプ」を行います。

～チャレンジプログラムと地域交流を通して防災意識を高めます～

愛知県弥富市（市長：安藤正明）、海南病院（病院長：奥村明彦）は、地元小学生の災害への備えと防災意識を高めるため防災イベントを定期的に行っています。弥富市は、南海トラフ大地震（30 年以内に 70%以上の確率で発生※）が発生すると津波・浸水により甚大な被害が発生すると想定されています。

この度、3 年ぶりの開催となる「防災キャンプ」を下記の通り実施します。弥富市防災課をはじめ災害時にいち早く医療現場に駆け付ける海南病院の DMAT（災害派遣医療チーム）が講師となり緊急避難場所への避難や炊き出し体験、命を守る人たちについて学ぼうといったチャレンジプログラムを通して防災への備えと知識を深めます。

※地震調査研究推進本部地震調査委員会より

<実施スケジュール>

日 時：2022 年 11 月 2 日（水）9：00～ 13：30

場 所：弥富市南部コミュニティセンター

参加者：弥富市立大藤小学校・栄南小学校の 6 年生 36 名

チャレンジプログラム内容：【1】参加者全員でシェイクアウト訓練
【2】津波警報発令後！緊急避難場所への避難
【3】子ども部屋から脱出してみよう
【4】炊きだし体験
【5】命を守る人たちについて学ぼう など



当日は災害派遣を行う際の
装備を備えた DMAT 車の中
も子どもたちにご覧いただ
きます！

講 師：チャレンジプログラム【5】担当

海南病院 DMAT（災害派遣医療チーム）隊員 2 名（看護師・事務職）

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、職員の派遣制限がかかる場合がございます。

目 的：・災害に備え自分でできる災害への備えを考え実践できるようにする
・大藤小、栄南小の 6 年生が、防災学習をととして交流を深める。

実施体制：弥富市（運営主体）・特定非営利活動法人 愛知県西部防災ボランティアコーディネーターネットワークの会、海南病院（講師派遣）、日本赤十字奉仕団愛知県支部
地域奉仕団

<2019 年の開催の様子>



<海南病院の DMAT チーム>

DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を発揮するための専門的なトレーニングを受けた医療チーム」で医師、看護師、業務調整員で構成されています。大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に急性期（おおむね 48 時間以内）に活動します。海南病院のDMATチームは、東日本大震災や熊本地震などへ出動し救助・医療活動を行っています。



<海南病院について>

病院長：奥村明彦

病床数：540 床（一般病床 534 床・感染病床 6 床） 診療科：全 31 科

開設日：1938 年（昭和 13 年）8 月 24 日

住 所：愛知県弥富市前ヶ須町南本田 396 番地

主な各種指定：地域医療支援病院、救命救急センター、地域周産期母子医療センター、
地域中核災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、第二種感染症指定医療機関 等



JA 愛知厚生連海南病院は、1938 年に設立して以来、84 年にわたり地域の医療を支えています。現在では、海部医療圏の基幹病院としての役割を担い、三重県北部地域を含めた広い地域の方に高度急性期医療を提供しています。第二種感染症指定医療機関として、早期より新型コロナウイルス陽性患者の入院受け入れ、広域にわたるワクチン接種の実施など、地域の感染症医療の中心的な役割を担っています。

本プレスリリースに関する問合せ

弥富市教育委員会 学校教育課 柴田 由美子

TEL：0567-65-1111 FAX：0567-67-4011

E-mail：ky-jicho@city.yatomi.lg.jp

海南病院に関する問合せ（DMAT 隊員に関する取材も受け付けます）

JA 愛知厚生連 本部 （住所：愛知県長久手市平池 901 番地） 経営企画課 広報担当 井桁（いげた）

TEL：0561-62-3162（経営企画課直通） FAX：0561-62-3182

E-mail：h.kikaku05@honbu.jaaikosei.or.jp WEB サイト：http://www.jaaikosei.or.jp/

※本件は弥富市からもリリースを行います。